

宮脇 昭 先生指導による

いのちを守る「希望の森づくり」プロジェクト

津波から生命を守る「森の防波堤づくり」ぜひ参加ください!

先人たちの残した防災林が今、松枯れ等の影響で全滅の危機にあります。防災林は津波の力を減衰する「森の防波堤」としての役割を果たします。岩手県大槌町から始まった宮脇昭先生指導による国家的プロジェクト「森の防波堤構想」が掛川でもスタートします。

大浜地区防災林

6月2日(土) 雨天決行

集合 9:20
開会式 9:30
植樹 10:15~11:45

植樹面積: 5,000m²
植樹本数: 15,000本
参加定員: 1,000人

●服装・持ち物について

- ・長袖、長ズボン、運動靴
- ・帽子、タオル、軍手、移植ゴテ、水筒、雨具

■お申込み方法

- ※準備の都合があるため、参加人数・交通手段をお知らせください。
- ・参加申込書に必要事項をご記入の上、郵便またはFAXにて送信してください。
- ・お電話、E-mailでの申し込みも受け付けております。

無料送迎バス
掛川駅南口
①8:20発
②8:50発
※乗り場は係員がご案内します。



宮脇 昭氏 (みやわき あきら)
横浜国立大学名誉教授。
1928年、岡山県生まれ。
広島文理科大学(現広島大)生物学科卒業。
横浜国立大学教授を経て現職。
(財)地球環境戦略研究機関
国際生態学センター長、
元国際生態学会会長。
環境国際賞・ブループラネット賞受賞。



市内6カ所に誕生するプロジェクトの今後の予定 51,500本の「希望の森」

市民のいのちを守るために、今こそ森づくりを

森づくりを通して「生命の尊さ」「津波から逃げる」「森の大切さ」の意識を共有していただくため、市内6カ所で植樹祭を開催します。掛川市南部地域では、津波から生命を守る「森の防波堤づくり」を行ない、新病院建設地では、自分たちの育てた木々に、心と体を癒してもらえるよう「癒しの森づくり」を行ないます。山から海までの市民が手をつなぎ「森林資源を活かしたまちづくり」を目指します。子どもから高齢者まで、どなたもお気軽にご参加ください。

この事業は日本財団の助成を受けて実施しています。

「希望の森づくり」植樹祭 今後の予定

- | | | | |
|---|----------------|-----------------|--------------|
| 2 | 平成24年10月27日(土) | 新病院建設地 | 植樹本数:22,500本 |
| 3 | 平成25年3月23日(土) | 介護老人福祉施設くによす苑 | 植樹本数:5,800本 |
| 4 | 平成25年3月24日(日) | B&G大東海洋センター | 植樹本数:3,500本 |
| 5 | 平成25年度 | 掛川市立大浜中学校 | 植樹本数:1,000本 |
| 6 | 平成25年度 | 希望の丘(現在の市立病院周辺) | 植樹本数:3,700本 |

いのちを守る「希望の森づくり」プロジェクト

主催 NPO法人時ノ寿の森クラブ
共催 掛川市/毎日新聞社

助成 日本財団 The Nippon Foundation

申込・問い合わせ先

NPO法人 時ノ寿の森クラブ
掛川市北湖山陽地(倉真地内)で森林再生活動を行っている団体です。
〒436-0051掛川市中宿113(松浦)
TEL/FAX. 0537-23-0412
http://outdoor.geocities.jp/tokinounomori
E-mail: tokinounomori@yahoo.co.jp

大浜地区防災林「森の防波堤づくり」参加申込書

■会場までの利用交通 ※いずれかに☑をお願いします。

お車で 駅より送迎バスで(8:20発 8:50発) ※いずれかに○印をつけてください。
※お車で越しの場合、駐車場に限りがございますので、できるだけ乗り合わせてお越しください。

代表者氏名	参加人数	人
組織・グループ名()	※個人の場合は不要です。	
お住い	※いずれかに○印をつけてください。県外の方は県名をご記入ください。	
	掛川市内	掛川市外(県内) 県外(県)